



**今月の話題：**働き方改革法案というのが国会で議決された。主に労働時間の制限であるが、建設業での課題は工期である。自然条件に左右されることも多いが、工期厳守の過度な尊重もある。新国立競技場建設では設計案決定の不祥事から着工が遅れ、すでに過重労働の犠牲者が出了事が報じられていた。適正工期の設定と柔軟な運用が強く望まれる。この事は幾多の海外工事で得た経験から感じていたことであるが。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・創立 20 周年記念事業は、2018 年 11 月 5 日(月)午後 3 時から内田祥哉先生の講演他を、神田、学生会館で行うことになりました。どうぞ、ご予定下さい。

○次回拡大理事会：9 月 7 日(火) 18:00~

□ 建築部会：(岡本 直 記)

・建築部会(5 月 16 日)での主な報告事項

(1)平成 30 年度寺子屋について：今年度第 3 回以降のテーマの検討を行い、モンゴルプロジェクトの報告、マンションの長寿命化に向けた外装材耐久性向上技術の動向、大学関係のサーツ会員の方の専門分野のレクチャーが候補に上がった。実現に向け具体的な検討に入ります。

(2)リフレッシュ見学会について：今年度第 2 回 5/23 会員の谷口さんの尽力で、(仮)西武鉄道池袋ビル(設計；日建設計、施工；大林組・西武建設 JV)の現場見学を行った。西武線の鉄道を跨ぐ立地に建設されており、耐震要素の外周ブレースが鉄道ダイヤ図のイメージで構成されるなど、技術的に創意工夫が凝らされた工事でした。

(3)5/9 東京都主催、サーツ共催のマンション耐震セミナーが 9/15 の開催に決定しました。これから、セミナーの内容などの検討に入ります。

(4)4/27(公財)建築技術教育普及センターの調査・研究助成に応募を提出しました。

(5)11 月に予定されるサーツ 20 周年記念イベントの構想や、松村先生が出席された 5/9 の水曜特別サロンの状況などについて安部さんから説明されました。

(6)5/25 建築部会のあらたな取り組みである、改修専門会社の若手社員を対象とした仮題「コンクリート技術の要点」の講座の企画について、改修専門会社の役員と安部さん、岡本で協議を行い、7 月からの開始に向け準備を進めることになりました。

○次回建築部会 6 月 13 日(水) 17:30~19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・戸建住宅部会は過日ワークショップを行い、今年度の研究活動テーマを次の 3 つに絞り込みました。

①空き家とエリアマネジメント、②CLT を用いた小規模建築物の検討、③戸建住宅部会活動 20 年の資料整理。以上のテーマのいずれかに部会員の皆様の参画とご協力をお待ちします。

○次回部会予定：6 月 7 日(木) 18:00~20:00

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・2ヶ年にわたり管理組合の団地再生勉強会を支援してきた第 2 稲毛ハイツで、その一連の成果を踏まえてアンケート調査を行い、8 割の回収率が得られたとの情報が入りました。熱心な管理組合幹部の尽力・参加者の熱意、

それに我々の貢献が功を奏したものと喜んでいますが、その内容の分析などを手伝いながら、再生の方向(修繕・改修か建替か、改修の場合：開口部断熱やエレベーターを付けるリノベーションで行くべきか否か)の意向がまとまってくるものと期待しています。このような管理組合がある一方で、心ない大規模修繕コンサルタント(後ろで工事業者とつるむ)に不要な工事や割高な工事費で「修繕費積立金」を根こそぎ 持って行かれるようなトラブルが散発しているようです。昨年来の取組を振り返る余裕が少し出てきました。小生のところに届く郊外分譲団地の悩みや心配事を聴いていると、後期高齢期住民が過半になったような団地では、団地や地域の将来、個人個人の将来に展望が見えない状況になっています。

善良な居住者や管理組合に寄り添うことのできる NPO 技術者集団として、我々の役割の重要性が高まっているのだと言えるかもしれません。

○次回部会予定：7 月 10 日(火) 18:00~

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・5 月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況

1) 今年度新規受託契約済 6 件で、今月 1 件(下記⑥)増えました。①市川市(屋外改修工事監理)②江東区東陽町(防火設備定期検査)③練馬区関町(建替え決議までの勉強会指導)④八王子市高尾(外壁タイル打診調査)⑤柏市(大規模修繕監理)⑥西東京市(第 3 回大規模修繕計画コンサル)前期からの繰越案件⑦練馬区北(工事監理)⑧藤沢市鶴沼、頻度別コンサル、⑨板橋区栄町(雑排水管更新コンサル)、⑩品川区南大井(管理会社作成の長計案に対する校閲業務)、⑩品川区南大井(地下湧水対策工事コンサル)、で今月は既に 10 物件が動いています。2) 上半期引合 4 案件、①江東区東陽町(特殊建築物等定期調査)②北区浮間(改修設計・業者選定)、③大和市(補助金付き簡易耐震診断)、④調布市(第 2 回大規模修繕計画コンサル)を受託に向け努力中です。なお、5 月 24 日開催の拡大理事会で今期収支目標を達成できる旨、報告。今年も東京都と共催のマンション耐震セミナーが 9 月に開催の予定で、新担当係長・職員と、第 1 回目の事前打合せが 5 月 9 日にありました。今年の講演テーマと講師等について 5 月 28 日の第 2 回目の事前打合せで具体案を基に検討することとなりました。

○次回部会予定：7 月 10 日(火) 16:00~18:00

(集合住宅部会との合同開催です)

□ 建築技術誌 6 月号(5 月 17 日発売)サーツ欄掲載記事

・片岡泰子：支援機構仕様書変遷に見る木造住宅の性能

・金森捷三郎：サーツ総会、今年は設立満 20 年

□ 余滴：少量の青梅なればそっと漬け 捷三郎